

北九州市立八幡母子寮 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和元年10月1日(火) 13:00~15:00
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎 112会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 文屋典子構成員、平位和子構成員、
松尾まゆみ構成員、松木摩耶子構成員
(事務局) 子ども家庭局子育て支援課長、家庭支援係長、
子育て支援課担当職員

4 会議内容

○ 応募団体からの提案概要に対してヒアリング

(構成員) 自尊感情回復プログラムとはどのようなことを行っているのか。

(応募団体) 母子寮の入所者は他人からの言動の受け止め方について、認知の歪みが見られるため、それを修正する学習や訓練をすることで、就業の継続や人間関係の安定等につながってくる。

(構成員) 運営方針の説明のなかで、母子寮を必要とする母子が増えている状況の中、利用者が減少しているとの話があったが、その理由は把握しているか。

(応募団体) 全国的に、母子寮が約240カ所あるなかで、全母子家庭の0.3%ほどしか利用されていないというのが実態であり、どこの施設も入所者数は減少傾向にある。はっきりとした理由は分からないが、入所者に対して母子寮について説明する際、入所者を管理する施設との誤解を与えてしまっているのかもしれない。また、インターネットなどで、入所すると携帯電話を持つことができないなど、誤った情報も出回っていることが考えられる。実際入所された方は、入ってよかったと言ってもらえている。

(構成員) 入所者が減少するなかで、法人としても、今後の事業計画の見通しがしにくいということもあると思う。

(応募団体) 我々としても地道に地域へ出て、施設の積極的な利用を呼び掛けている。また、市社協などの他の事業者と連携するなかで、専門性をPRしながらやっていきたいと思う。

(構成員) 入所者の意見や要望を吸い上げる取組みとして、意見箱の設置などを行っているとのことだが、どのような意見が寄せられているか。

(応募団体) 意見箱に入っていることはないが、定期的で開催している“母の会”において、施設周辺の騒音への対応など日常生活のなかでの様々な意見

が挙げられている。先日、入所者から、母の会とは別に自主的な集まりをやりたいとの意見も出された。そのような意見に対しても、できる限りの協力を行っていく予定。子どもたちとは、日常的に関わる中で常にコミュニケーションをとっている。

(構成員) 八幡母子寮は施設も新しく立派で、小倉母子寮とはまた異なった雰囲気である。施設で、母親が子どもを育てながら、自立に向けて仕事を見つけて生活していくのは、本当に心のためにいいことだと思う。入所者が少ないのは課題だが、できる限りPRをしていただきたい。また、入所者が病気の時などは子どもの面倒を見るなどの支援をしっかりとお願いしたい。

(応募団体) 全国の福祉事務所230ヶ所以上にパンフレットなどを送るなど、我々ができることはやっているので引き続きがんばってPRしていきたい。

(構成員) 母親からの意見や要望などはないとのことだが、子どもが元気に生活できていれば、それだけで母親は安心できるということもある。福祉事務所からの紹介の仕方、母子寮にたどり着く人、たどり着かない人がいたり、またすぎる思いで来た人のなかでも、信頼関係を築く難しさがあるなかで、様々な苦勞をしながら運営されているというのが伝わってくる。

ちなみに、自尊感情プログラムはスーパーバイザーの方が何回くらい来るのか。

(応募団体) 今後の提案として、スーパーバイザーの方に来ていただけたらと思っ
てはいる。1年に一回、母子寮で取り組んだプログラムの成果を携えて、大阪で開催される研究会に出席し、スーパーバイザーからアドバイスを受けながら実践している。

(構成員) 心理分野における取組みが大事な施設だと思うが、人員配置計画表に書かれている「公認心理師」は国家資格を有しているのか。

(応募団体) そうである。

(構成員) 人員配置計画表をみると、60～80代と高齢の方もいらっしゃるが、今後5年間運営していく中で更に高齢化が進むと思われるが、どのように考えているのか。

(応募団体) 八幡母子寮では預かり保育を行っているが、最近は保育士の確保が困難である。そこで、母子寡婦福祉会に登録して、母親が病気や仕事で子どもの面倒をみられない時に、一定の研修を受けた支援員を派遣してもらっている。その支援員を母子寮の保育担当として計画表に記載している。したがって、計画表に記載されている方々がずっと勤務しているわけではない。

- 質疑応答終了。応募団体退席。
- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。
- 合計得点集計・発表し、提案についての意見交換及び評価、総合的な所見を発表。

[総合的な所見]

- ・ 八幡母子寮は立地条件よく施設も新しい。本当に支援を必要としている母子家庭が入所できるように、応募団体が頑張っていることが分かった。
 - ・ これまでの応募団体の取組みや実績をみると、しっかりした、良い指定管理者であると感じた。
 - ・ 安心感、安定感を感じた。一方、今後の施設運営を見据え、配置人員の高齢化、入所者の減少等の課題もあり、レベルアップできる改善の余地はあると感じた。
 - ・ 長年携わっていると、マンネリになる場合もあると思われるが、母子家庭が安心して生活することができる施設にしたいという思いを感じることができ、高く評価できる。
 - ・ 一つ気になったのは、入所者から意見が出ないというところ。本当に満足していて意見がないのか、忙しくて意見を出すどころじゃないのか、見極めるためにも、もう少しじっくり意見を吸い上げることができる関りが必要かもしれないと感じた。苦情がないから大丈夫とは言えない。
- 事務局より、今後の指定管理者選定に関するスケジュールなどの説明を行い、検討会を終了した。